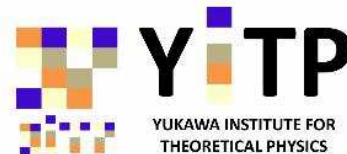


Kerr Black hole は本当に Over-spinningできるのか？

T.Jacobson and T.Sotiriou PRL, 103,141101(2009)
関連のReview発表.



京都大学基礎物理学研究所 修士2回生

磯山 総一郎



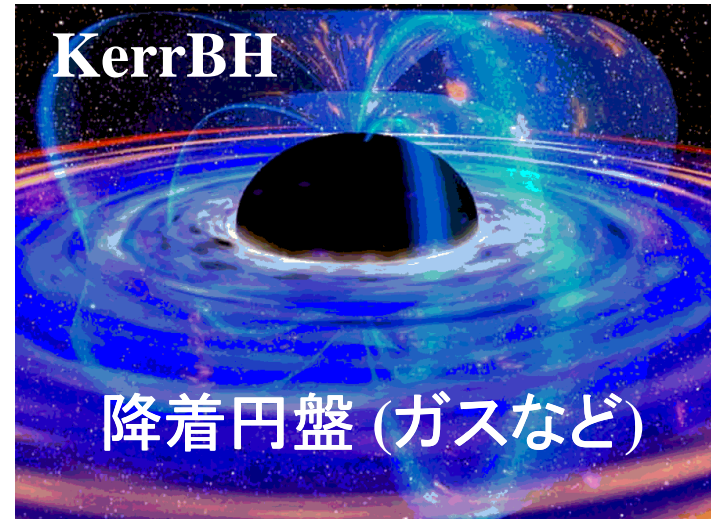
Blackhole(BH) とは？

<http://woodahl.physics.iupui.edu/Astro105/KerrBlackHole.jpg>

- ・重力が強すぎて、光でさえ逃げられない領域

- ・宇宙の重い(約 10^{35} kg)コンパクト天体候補

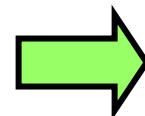
- ・一意性 (Nohair) 定理 (e.g.B.CarterinLesHouches lecture1973)



真空、定常なBlackhole は、

質量 M , 角運動量 J のみで一意に決まる。

真空回転 Blackhole



KerrBlackhole

KerrBlackhole とは?

・真空で回転する BH:Kerr 計量

$$\begin{aligned}\Sigma &= (r^2 + a^2)^2 - a^2 \Delta \sin^2 \theta \\ \rho^2 &= r^2 + a^2 \cos^2 \theta\end{aligned}$$

$$ds^2 = -\left(1 - \frac{2Mr}{\rho^2}\right)dt^2 - \frac{4Mar \sin^2 \theta}{\rho^2} dt d\phi + \frac{\Sigma}{\rho^2} \sin^2 \theta d\phi^2 + \frac{\rho^2}{\Delta} dr^2 + \rho^2 d\theta^2$$

スピン(角運動量)パラメータ: $a = J/M$ $\Delta = r^2 - 2Mr + a^2$

・事象の地平面 ($\Delta = 0$)

$$r_+ = M + \sqrt{M^2 - a^2} \quad (\text{ただし } M > a)$$

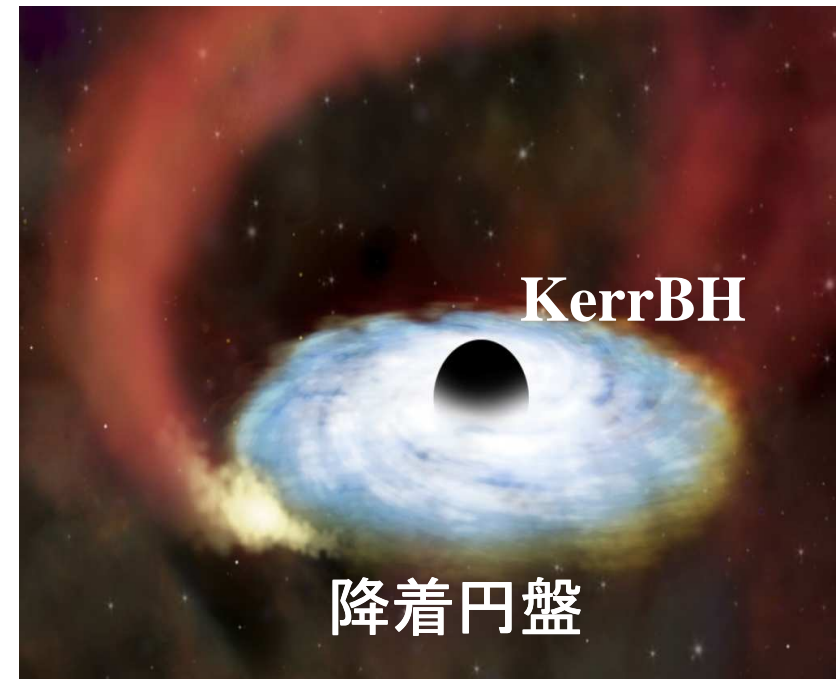
→ $a = M$: 重力と遠心力がつりあう限界角運動量

KerrBH のスピンには **上限** が存在する

KerrBH の最大スピン？

・KerrBH は物質を吸収すると、質量と角運動量(スピン)が成長

・BH候補天体や数値実験は、**ほぼ $a=M$** のスピン上限値で回転する Kerr BH の形成可能性を示唆？

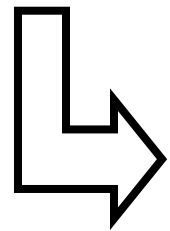


http://www.naoj.org/Pressrelease/2006/02/15/j_index.html

KerrBH の**スピン上限値**突破はありうるか？

Whyspin??

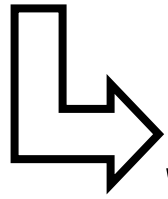
一般相対論からの動機



・宇宙検閲官仮説 (R.Penrose1969)

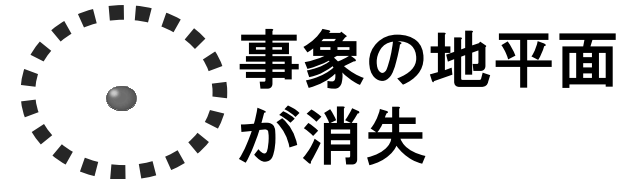
裸の特異点と呼ばれる、病的な領域は生じない

宇宙物理からの動機



・BH候補天体の基本パラメータであるスピンの進化を通して、その進化過程 (UNKNOWN), を理解したい

KerrBH の場合



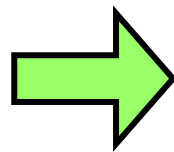
本研究の目的

問題設定

・ $a \sim M$ で高速回転する KerrBH に軌道角運動量をもつ 質点を落下させた場合, BHのspin上限値を超えるか？

先に 結論

・KerrBH は質点を吸収すると「**ある条件下では**」spin上限値を超えてしまい, 裸の特異点をつくる



Over-spinning

2

Over

spinning

着眼点は何か？

- ・これまでの理解 (e.g.R.Wald 1974)

$a=M$ なるスピン上限値で回転しているKerrBH は、質点の吸収ではそれ以上スピンを増やせない

- ・宇宙にあるBH候補天体や数値実験は、ほぼ $a=M$ で高速回転する Kerr BH の存在・形成可能性を示唆？



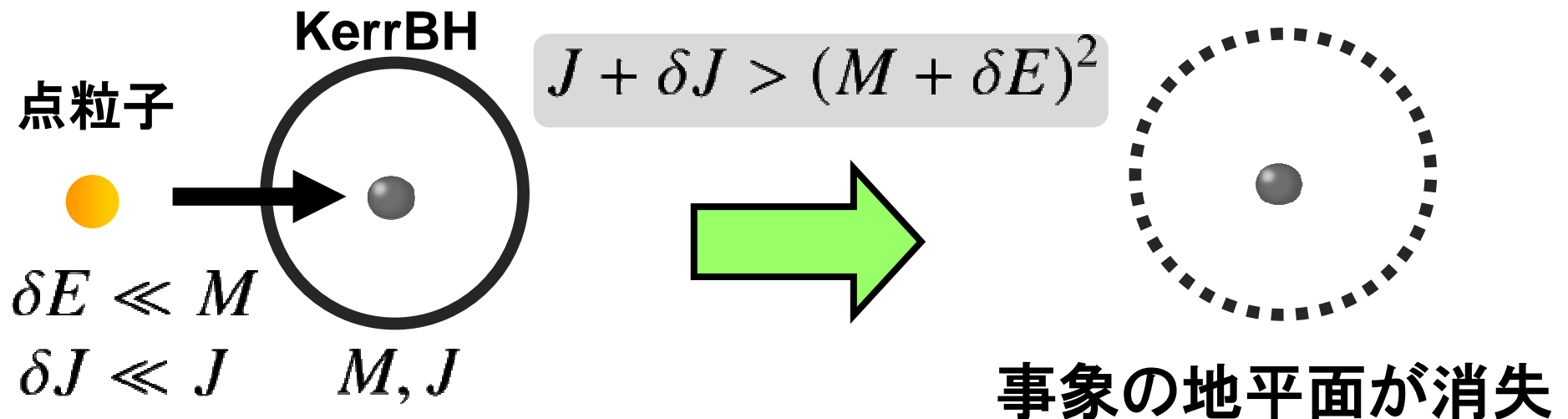
$a \sim M$ で高速回転している KerrBH の場合は？

KerrBH への質点の落下

T.Jacobson, and T.Sotiriou, PRL, 103 141101 (2009)

① スピンの上限値を突破するための条件

KerrBH の地平面半径 : $r_+ = M + \sqrt{M^2 - (J/M)^2}$



$$\delta J > \delta J_{\min} = (M^2 - J) + 2M\delta E + \delta E^2$$

②質点が KerrBH に落下する条件

- 質点がBHに吸収されること

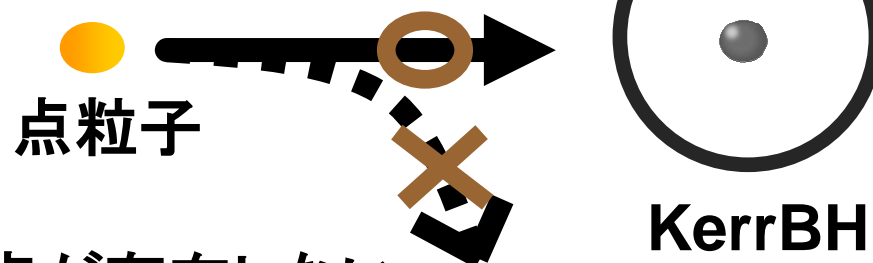
$$\delta E - \Omega_H \delta J = \delta A \times (const.) > 0$$

地平面の角速度:
 $\Omega_H \equiv \frac{a}{2Mr_+}$

↑
質点に吸収による, 地平面の面積の増加

- 質点がBHに跳ね返されないこと

$$\frac{j^2}{2} + V_{\text{eff}}(r, \delta E, \delta J) = 0$$



↑
地平面の外で常に負なら, 転回点が存在しない

$$\delta J < \delta J_{\text{max}} = \frac{2Mr_+}{a} \delta E$$

Over-spinningの判定条件

V.Hubeny,PRD 59 064013(1999)

問題 (再掲)

・ $a \sim M$ で高速回転する KerrBH に軌道角運動量をもつ質点を落下させた場合, BHのスピン上限値を超えるか?

$$\frac{J}{M^2} = \frac{a}{M} = 1 - 2\epsilon^2 \quad : \quad \delta E = O(\epsilon) \quad (\epsilon \ll 1)$$

$$r_+ = M + \sqrt{M^2 - (J/M)^2}$$

$\epsilon = 0 : J = M^2$ というスピン上限値で回転しているKerrBH

$$\frac{J}{M^2} = \frac{a}{M} = 1 - 2\epsilon^2 : \delta E = O(\epsilon) \quad (\epsilon \ll 1) \quad \begin{array}{l} M \equiv 1 \quad a = J/M \\ r_+ = M + \sqrt{M^2 - a^2} \end{array}$$

①BHのスピンの上限値を突破する条件：

$$\delta J_{\min} = (M^2 - J) + 2M\delta E + \delta E^2$$

$$\longrightarrow \underline{\delta J_{\min} = 2\epsilon^2 + 2\delta E + \delta E^2}$$

②質点がBHに落下する条件：

$$\delta J_{\max} = (2Mr_+/a) \delta E$$

$$\longrightarrow \underline{\delta J_{\max} = (2 + 4\epsilon) \delta E}$$

$$\delta J_{\max} - \delta J_{\min} > 0 ? \quad (O(\epsilon^2))$$

落下質点の満たすべき条件

- ①BHのスピンの上限値を突破する条件 : $\delta J_{\min} = 2\epsilon^2 + 2\delta E + \delta E^2$
②質点がBHに落下する条件 : $\delta J_{\max} = (2 + 4\epsilon)\delta E$

$$\frac{\delta J_{\max} - \delta J_{\min} > 0? (O(\epsilon^2))}{\downarrow}$$

$$(2 - \sqrt{2})\epsilon < \delta E < (2 + \sqrt{2})\epsilon$$

$\epsilon = 0$: スピン上限値で回転しているKerrBH

KerrBH は Over-spinning する?

本発表の要約と結論

やったこと

- ・角運動量の上限值に近い $a \sim M$ で高速回転する Kerr BH に、軌道角運動量を持った質点を落下させた

判明したこと

- ・Kerr BH は上限値を越えて **Over-spinning** する？



宇宙検閲官仮説に反して、

BH候補天体はいずれ特異点に！？

